



萩市須佐地域

公民館だより

令和7年

9月

第626号

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発行第1号時のもの

**集おう！学ぼう！
手をつなごう！**

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

盆…白熱したスポーツ大会！

須佐地区ソフトボール大会



ホームイン！



ファースト、アウト？セーフ？



フライを打ち上げてしまったバッター

《今月の話題》

- お盆の季節…帰省者とともに
 - ・須佐地区ソフトボール大会……………2P
 - ・各地区で盆踊り大会……………2P
- 夏はやっぱりそうめん流し……………3P
- 「みこと号」本格的に始動！……………8P

久しぶり！帰省者と和む盆行事

皆さん、お盆はどのように過ごされましたか？久々に帰省された皆さんとともに、楽しく過ごされたのではないのでしょうか。

各地区では8月14日（木）、15日（金）と盆踊り大会やスポーツ行事などが開催され、家族や友人などと和やかに過ごされる様子も見られました。

猛暑の中、熱い戦い！

須佐地区ソフトボール大会

朝から焼き付けるような日射しが照りつける中、須佐グラウンドでソフトボール大会が開催され、帰省者を含む、須佐地区を4つに分けたブロックで試合が行われました。

試合はトーナメント式で、くじを引いて対戦相手を決めました。1試合目は3ブロック（西側）対4ブロック（北側）が、2試合目は1ブロック（東側）と2ブロック（南側）が対戦し、1試合目と2試合目の勝ちが決勝戦へと進みました。

選手の中には女性も加わっているブロックがありました。練習からひとときわ目を見張る女性たちが、聞くところによると、中学校のソフトボ-



スピードあるボールを投げる女子中学生

ル部に入っておられ、ピッチャーのボールも早く、バッティングも良く、周りからは密かに「格好いい！」という声飛び交っていました。

また帰省者と、プレーを楽しむ皆さんの姿が印象的でした。

ブロックごとに水分補給の飲み物も用意されており、猛暑の中でも1人も熱中症を出さずに、大会を無事終えることができました。来年も、多くの皆さんに参加していただき、華やかな大会となります。およう期待しています。お疲れさまでした。



【大会結果】

優勝 2ブロック（南側）
準優勝 3ブロック（西側）

賑やかに各地区盆踊り大会

8月14日（木）と15日（金）、須佐地域の各地区では「盆踊り大会」も開催されました。

〜弥富地区・鈴野川地区〜

弥富支所前で行われた盆踊り大会では、約130名の参加がありました。やぐらを中心に、輪になって八手踊りを3回踊り、最後には大きな輪ができました。

恒例の福引も大好評でした。



毎年、外で賑わう弥富の盆踊り



楽しく踊る鈴野川の皆さん

〜須佐地区〜

一方、8月15日（金）に須佐文化センターで開催された盆踊りでは、約150人が集いました。

最初に、初盆の供養を心光寺住職さんによって行われた後、毎年恒例の「愛の輪音頭」を先に2回踊り、ようやく盆踊りが始まりました。

今年は、はじめから大きな輪ができており、二重の輪へとなるのも早く、しばらくすると、浴衣を着て踊っている子ども達に、お菓子の花メダルが送られ、盆踊りが終わると、メインの抽選会が行われました。

くじに当たった人も、当たらなかった人も、最後は皆さん笑顔で帰られました。来年もぜひ、お越しを。



若い人や帰省者も多く参加された須佐の盆踊り

真夏の風物詩

公民館でそうめん流し

須佐のびのび教室

8月7日(木)、毎年恒例の「そうめん流し」を須佐公民館で行いました。前夜から降った雨で気象予報を見て、毎年行っている久原園地では無理だと考え、公民館での開催となりました。今年も、そうめん流しの前に竹で器と箸を作りました。

竹細工の指導者は、須佐地区で活動されておられるコミュニティ須佐の皆さんです。

まずは、器作りからです。竹をのこぎりで切ります。竹の節を底に見立て、長さを調節して器になるように切るのですが、はじめは、のこぎ



のこぎりの使い方を教えてもらう小学生

りがうまく引けない子どももあり、大人の方が丁寧に教えて下さるとだんだん上手になって、器用に竹が切れるようになり、自分のだけでなく、いくつも切っていました。

器の次は箸作りです。子ども達が、今年初めて箸作りで学んだのは、なたを使って竹を割ることです。これまで、その役目は大人がしていました、1人の子が教えてもらおうと、他の子どもそれぞれ教えてもらい、怪我もなく箸作りの作業を積極的にこなしていました。

器と箸の形に出来上がると、食べるとき口元を切らないように、ヤスリで丁寧に磨けば完成です。

さあ、いよいよそうめん流しです。竹竿樋(たけごい)に、ホースから水を流すと「おおっ！」という声。そして、子ども達が器に美味やつゆを入れて樋の前に立つと、水の流れに沿って結構早く、そうめんが流れてきました。

子ども達は、もう、そうめんをすくうのに無我夢中！器いっぱい、そうめんを入れて、おいしそうに食べていました。公民館で作ったミニトマトが時々流れてくると、「トマト、トマト欲しい」と言って、トマトの争奪戦に……。でもどうやらミニトマトも子ども達全員に行き渡ったようでした。



竹の器と箸で美味しそうにそうめんを食べる参加者

そして、この教室に携わった大人の方も一緒に、コミュニケーションを図りながら、お腹いっぱい、そうめんを食べました。

最後に、甘いスイカもいっぱい食べ、みんなお腹が満腹になったようでした。

結局、心配した雨は降りませんでしたが、久々の公民館でのそうめん流しは、子ども達も笑顔で、とっても楽しめたようでした。

年々、子どもの参加が減っていく中での開催も危ぶまれています。これまで続いた夏の風物詩を、絶やすことのないよう、来年度以降も皆さんの参加のご協力をお願いします。

今年も高校生活躍！

高校生祭り

昨年に引き続き、8月15日の午後から盆踊り大会までの間、「高校生が考えたお祭り」が須佐文化センターで開催され、ゲーム交流会が行われました。当日は、約20名の応募参加者とその保護者などが集い、賑やかな交流会となりました。

開会式では、お祭りの実行委員長の野村旭陽君の挨拶がありました。池田教育長もお越しになり、帰り際、「あのゲームを実況している高校生、とても上手だね」と褒めておられました。

また、外では出店のブースもあり、用意した食材は全部売り切ったようでした。準備の段階では、色々大変だったようですが、これを反省し、今後につなげてほしいと思います。



高校生お祭りの様子

折り紙で脳トレ

つどい会



8月6日(水)のつどい会は、デザートにクラッシュゼリーを作りしました。オレンジジュースとカルピスウォーターを混ぜた二つの味であり、さわやかなゼリーが出来上がりました。

ゼリーがなかなか固まらず、時間内にちゃんと食べられるかなと不安でしたが、なんとか固まり、ゼラチンのプルプルした食感に「普段よく寒天でゼリーをつくるけど、ゼラチンで作るのもいいね」「プルプルの食感がおいしいし、さっぱり食べられるね」と好評でした。

メインの中華風そうめんは、そうめんの上にエビ・錦糸卵・きゅうり・ハムを散らして酢と醤油・ごま油を混ぜて作ったタレで食べました。

「色とりどりで豪華なそうめんになったね」と話しながら食べました。

午後からは、ちよこつと脳トレを兼ねて、折り紙を使った壁面制作をしました。今回の壁面制作は、すだれの上に緑の紙を切って作った蔓(つる)を貼り、参加者には、その周りに折り紙で朝顔を折って貼り付けてもらいました。



食後の脳トレ：折り紙で朝顔づくり



朝顔の折り方はいろいろあるのですが、今回は一番簡単

な折り方にしました。最初は戸惑いながら作業されていた方も、1つ完成すると2つ目からはサクサク作れるようになりました。全体的にたくさん朝顔が咲くと次は、折り鶴を折ってみようと挑戦される方、朝顔の花びらをフリルの加工をされる方など、個性豊かな朝顔がたくさん完成しました。

9月中旬まで、公民館1階多目的室前に掲示していきますので、よろしければぜひ見に来てください。

公民館学級

ウラに潜む投資詐欺

須佐あおば勉強室

8月19日(火)、須佐公民館で3回目の「マネー講座」が開催され、『保険・投資・消費トラブル』についてのお話がありました。

6月から8月までの3回シリーズで開催されたマネー講座は、今回で最後となりました。講師は3回目も同じく、宇部市のJ・F・L・E・C講師の渡邊恵子さんです。

最初は、保険についてのお話です。日本の社会福祉は「自助」「共助」「公助」で形作られているのですが、今回は主に、「自助(自分でどうにかすること)」について説明がありました。任意の保険はいろんなのが

あるけれど、老後の資金にと考えておられ、なおかつ、何かしらの保険に加入しておられる方は、別の保険に入るのは、お金がもったいないから、よく考えた方がいいようです。

また、皆さんは「投資」については、あまり興味はないと思いますが、

講師の渡邊さん

手数料もかかり、保証もなかなかないのだから調べて



クイズにも真剣に取り組む参加者たち

からするのが妥当だそうです。

そして、消費トラブルですが、やはり「おいしい話には気をつける」ことです。投資詐欺の手口として「ポンジ・スキーム」と呼ばれるものがあるそうです。どんなものかというところ...

実際に投資をする→0%の配当がもらえた→もっと投資をする。また、友人にも紹介する→ある日突然配当が支払われなくなり、連絡もつかなくなつて詐欺だとわかる

最初はうまい話に乗せ、しつかり投資させたとところで、お金をもつて海外などに逃げるそうです。最後に、いくつかクイズにも挑戦して3回のマネー講座は終了しました。皆さんのお役に立てたでしょうか。

子育て支援日記

テーマ／おじいちゃん、おばあちゃんの知恵袋

「懐かしい子ども時代…」

須佐編物教室

今回は、月2回須佐公民館で活動しておられる「須佐編物教室」の皆さんに、子どもの頃の話をお聞きました。

公民館／早速ですが、皆さんの子どもの頃は、どんな生活環境だったのかお聞かせください。

編物／私たちの子どもの頃と言ったら、昭和27年、28年頃ですが、親がわらで縄をなっていたので、それを見よう見まねで手伝っていました。

その頃、学校でのスリッパはわら草履だったので、その縄を使って、わら草履を編んでいました。私は、最後の鼻緒のところがどうしてもできなかったもので、そこは親にしてもらっていました。

編物／お家の環境で、下履きもわら草履を履くものや、下駄やゴム靴を履いている人もいました。学校まで歩いて4時間かかっていたので、すぐに破れたりしていたから、わら草履作りは貴重でした。

公民館／大変でしたね。食べ物はどうでしたか。

編物／おやつと言ったら芋だったね。かんころ餅（スライスして↓干して↓蒸かして↓餅米と一緒につく）。

あとかき餅も。

家に植えていた

ミカンがあつて、

親が「食べても

いいよ」と言っ

て食べてみたら、

まだ酸っぱかつ

たというような

こともありまし

たよ（笑）

編物／また、須

佐と弥富が合併

した昭和30年の3学期から学校給食が始まったのだけれど、弁当の日は、おかずがないから白米に佃煮が入ってたくらいでした。

給食は、親が当番制で作っていて、

当番の時には、野菜などを持ち寄っ

て作っていたね。お肉と言ったら、



教室で作った編み物作品

豚肉はなかったし、鶏を飼っているところもあったから、鶏肉かあとクジラの肉もあったよ。

編物／そういえば、よそからクジラを売りに来て、泊まるところがないから家へ泊まって、そのお礼と言つて、クジラの塊をもらっていたこともありました。

公民館／そうなんですね。クジラは、私が子どもの頃にも竜田揚げで給食に出ていて、美味しかった記憶があります。

皆さんの子どもの頃、どんな遊びをしていたのですか。

編物／メンコやビー玉、ゴム跳びにくんだん（弥富ではにくどん）、また、おじやみやおはじきを学校へ持って行つて遊んでいました。

公民館／そうなんですね。

他に、子どもの頃、怖

かったことや面白かつた

エピソードなどあれば、

教えてください。

編物／そうじゃねえ…。親戚の犬が凶暴で噛みつかれて、それから恐怖でその前を通れなくなったことがありました（笑）

編物／当時の学校の先生が怖かつた。

行儀が悪かつたら定規でバチン！と

されたり、チョークが飛んできたり、

女性の先生も怖かつたよね。

編物／あと夏は、当時砂浜だった漁協の場所や別荘の裏で泳いでましたよ。女子はシミーズで、男子はふんどしで。小さい子どもは裸で遊んでいました。

夕方は、あせも直しに家の裏の海に入ってからお風呂に入ってた記憶があります。

編物／の頃は、紙がない時代だったので面用紙もボロボロ。でも、運動会が終わるとききれいな紙を一枚と鉛筆をもらっていました。

編物／夏休みと言ったら、私たちの時代は田植え休みと稲刈り休みがあつて、田の手伝いをしていましたよ。でも田のない人は、宿題がたくさん出されてましたね。

今の子どもは大事に育てられてるし、機械のある時代だから…。私達は、貧しいこともひもじさも知っている。でもそんな経験が、いつか自分の強みにもなると思います。

公民館／そうですね。最後に、皆さんの今の楽しみは何ですか。

編物／やつぱり家で1人であるよりは、こうして集まって、編物をしながら皆さんとおしゃべりするのが楽しいですね。（皆さんうなずく）

公民館／ありがとうございます。今後いろいろなところへ出て、楽しくリフレッシュしてください。



旧須佐町中央公民館

須佐までは遠い・・・

金山谷トンネル出口は、まだ山からの濁流で滝のような状態で流れ出ています。

また、出口付近には、トンネルに入らなかった車が何台か立ち往生していました。長靴の水を出し、石まじりの道路をひたすら須佐大橋をめざしました。

須佐大橋に達したのは、午後3時頃だったかと思われます。



雲の合間から見た唐津集落のようす

須佐大橋と唐津集落の間には、ま

だ雲が棚引いています。雲間から道路が無くなっているのが分かりました。変わり果てた唐津集落の悲惨な状況が目に見え込んできました。「みんな無事でいてくれと願うばかりで・・・」災害の怖さを感じた一瞬でした。

国道315号線沿いのログハウスを過ぎると土砂崩れで道は封鎖されていました。倒れた木々をくぐり抜けることで脱出。次は、平田（へいだ）トンネルを抜けたところでも大きな土砂崩れ、ここは真砂土の海でした。太ももまで埋まり、足が抜けないことにひと苦労、まさに泥沼地獄そのもので、たまたま倒れた木があり、それを掴み脱出。かなりの時間がかかりました。長靴に土砂が流れ込むと全く足が使えなくなる。ことが分かり、下手をすると命取りなることも在りそうです。脱出後は、山水を使い土砂を流し出すことに奔走しました。

迎えを要請したが・・・



平田（へいだ）トンネル付近の土砂崩れ

須佐グラウンドが近くなり、携帯で次長が、須佐グラウンドまでの迎えを要請したが、返事はあったが結局誰も来ることはありませんでした。須佐の市内はそれどころではなかったことを後で知りました。

そうこうしている内に、上三原入口に到着、長靴の中は、泥と水、汗とでグチャグチャ、ここまで支所を出発して3時間が経過。そうすると車が上がってくる音がしました。「迎えが来た」と喜ぶのも束の間、偶然通りかかったのは、当日予定されていた花火大会の花火職人の方

の車でした。帰り道を探しておられた様子でした。運よく、須佐駅まで乗せてもらうことになりました。一挙に疲れが出た感じでしたが、あともう少しで公民館まで到着との気構えで、変わり果てた須佐の町を歩きました。

本当に、跡形もないくらい悲惨な状態でした。まずは総合事務所へ、所長も次長も居ない中職員はてんでこ舞いの状態で、どうにかこれから次長が指揮をとり、所長が弥富から下ったのは次の日でした。

公民館も床上浸水、一次避難者も水が引き自宅に帰った方も多く、泥まみれの公民館は、何から手をつければ良いか分からない状態。まずはトイレが使える状態に、そして一階の各部屋の濁流出し、水がある時かき出さないと難しくなるので・・・

最後の文化センターホールの土砂のかき出しが終わったのは、午後11時が過ぎていました。

須佐に帰り、公民館の濁流かき出しの最中、午後5時くらいだったか、次長より実家の母が弥富で倒れて救急車で市民病院に運ばれたとの情報、しかし、どうすることもできませんでした。



タモリに負けずわが町を紹介

『プラタモリ』ならぬ『ぶらぶらタムラ』が、わが町を紹介します。今回も前回に引き続き、石州口の戦い大村益次郎が辿った足跡を紹介します。

浜田藩士岸静江の墓碑に参拝

この扇原関門の地を後に、薄暗い山道を益田市街方面に徒歩で約300m位進むと、右側の道路沿いに高さ約5m位の石碑が2本あり、1つには「従是北浜田領」と、もう1つには「従是南津和野領」と刻されていて、当時の領境であったことを示しています。



岸 静江殉職の碑

そして、その脇沿いには、大きい石碑があり、これに「浜田藩岸静江之墓」と刻されています。この地に暫く足を止めて、墓前に手を合せ合唱礼拝にて冥福をお祈りした次第です。

御土居の益田氏邸跡

この跡地は、益田市街地の益田川に近い三宅町にあります。この御土居は、以前益田市大谷にありましたが、益田邸が災禍に見舞われたことにより、これを機に邸を、三宅町の地に「御土居」を移転新築したものとされています。

その後益田氏が須佐に移住したことに伴って建物が解体され、現在の御土居跡となっています。

この御土居跡は、地形が長靴形で周囲に堀をめぐらせています。

南北の両堀幅は約40m、東西の両堀幅は約20m位あって、東西にそれぞれ大規模な土塁があり、そして土居の中央部分を正門とし、南北面の益田川を徒歩で渡り、益田氏の御城があった七尾山城に通ずる道があった、と記録されています。

うら門は、御土居の北方向の中央部分にあって、通路は水潟を渡り片

山方面に向かっていた、と記録されています。



益田氏三宅御土居跡（益田市）

このような三宅御土居の跡地を見ることが出来ました。関係者のお話によると、この御土居跡地は行政により、埋蔵文化財として、後日発掘調査が実施されると伺ったところでした。

幕府軍の陣営となった万福寺

三宅町の御土居跡地を後にして、益田川沿いの道路を西に進むと、東町の益田川の側に位置する「万福寺」に到着します。

この万福寺は、国の史跡及び名勝に指定されている「雪舟庭園」、そし

て南北朝時代に造られたという、現在、国指定の重要文化財の「万福寺本堂」があります。

そして、この益田口戦争の際、幕府軍の陣営となって浜田藩や福山藩の兵士らが頼所として拠点を置いたこと等で知られています。

このお寺の縁起書によりますと、当初このお寺は「時寄道場清瀧山淨光院万福寺」と称されていて、寺の前身は「安福寺」（天台宗）と言われ、平安時代に建立されて益田川河口付近にあったとしています。



万福寺本堂

しかし、これが1026年（万寿3年）の益田沖大地震による大津波によつて流失し、その後小庵を建て、法灯を守っていました。1319年（元応元年）に遊行4代吞海上人が当地に下向入寺された際、時宗の道場となりました。

「みこと号」 本格的に始動!

これまで、自家用有償旅客運送実証実験として動いていた「みこと号」が、8月1日より本格的に運行を開始することが決まり、その日に、須佐総合事務所前出発式が行われました。

「ぐるっとバス」や「生活バス」が、土・日・祝日等に動かない時に行事等に参加できないといった問題を少しでも解決したいとの思いで、令和5年7月から実証実験として運行を始めてまいりましたが、今回、NPO法人須佐元気なまちづくりネットが、本格的にこの事業にとりかかることとなりました。

出発式では、須佐総合事務所中村所長をはじめ、中国運輸局山口支局長さん他来賓や地域住民の方、約30名が参加しました。

来賓からの祝辞や「みこと号」のこれまでの経緯などを説明された後、育英小学校の5年生、工藤雫さんと廣田清修さんに、「みこと号」のマグネットシートを車体に貼っていたきました。

そして、早速、買物へと予約され

た方に乗せて出発する前に、テープカットが行われ、参加者の皆さんに手を振って見送られながら、「みこと号」第1便が発車しました。



須佐総合事務所前を出発する「みこと号」

「みこと号」の利用方法ですが、先月号の回覧でチラシを各戸配布しておりますので、それをご覧いただければと思います。

なお、分からない点やご相談については、左記までご連絡ください。

★お問合せ

特定非営利活動法人

須佐元気なまちづくりネット

☎070-3770-4570

須佐湾に2000発の花火!

7月28日、わずか15分間ではありましたが、今年も地域住民や地域内外からの観光客に見守られながら花火が上がりました。来年度も見れたらいいなあ…。



写真は久原波止場から



い衛ちゃん

まちの駐在さん



今年もつつがなく迎えられました「敬老の日」に運転能力を見つめ直してみませんか?

「お答えします」 須佐駐在所:衛藤豊文

加齢に伴う身体能力の低下は、筋力低下に伴い、とっさにブレーキを踏みこむことができなくなったり、動体視力等の低下に伴い危険の認知が遅れたり、自動車の運転に際して多くの「危険につながるため、自分の現状を理解することは非常に大切です。



「自分は大丈夫」だと過信するのではなく、今の自分を正しく理解し、安全運転を実践することが、「本当の意味での大丈夫」につながります。

加齢や病気等のために、運転を続けることに不安のあるかたやその家族等の相談に応じるための専用短縮ダイヤルに、お気軽にご連絡ください。

★問い合わせ先
不明な点やご相談などは

山口県警察本部
運転免許課
高齢者免許センター
(短縮ダイヤル) #8080

まで、お問い合わせください。



生涯学習作品コーナー

【俳句】

窓を打つ婚活忙しい燕かな

(山根丁東) ゆめはるか

暑さから逃れぬ季節まだ遠い

(入江) 緒方恵美子

【短歌】

十二年過ぎ七・二八忘れじと

今はさら地にペンペン草が

(青葉台) 田村雅利

津波来る！早く逃げてと警報ありて

解除の後に台風来たる

(山根丁東) ゆめはるか



『皆さんも投稿してみてくださいは…』

次回「10月号」は、次の「9月の季語」を使って、皆さんも俳句または、短歌を投稿してみてください。

【9月の季語】

台風 鈴(すず) 虫 秋分
そばの花 名月 萩(花)
鮭(さけ) 運動会 稲刈り
すすき 赤とんぼ



秋彼岸



大塚 均 (1911-1998)

銀鶴 春日大社切手

御子神をまつる摂社・若宮神社は1135年の創建。藤原摂関家らが奉納したもので、若宮御料古神宝類」として、49点が国宝に指定されている。小ぶりの飾り物が多く奈良春日神社の宝物。高さ13.3cmで、金鶴よりは大きいけれども小型です。羽根を広げた姿が優美な姿です。銀鶴は昭和56年7月10日100円切手として発行されました。大塚均70歳の作品です。



このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。

切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。

須佐の偉人伝 大塚均

102

2025		9月 地域カレンダー		須＝須佐公民館 学＝学校・保育園行事 子＝子ども対象行事		弥＝弥富公民館 ス＝スポーツ関係 弥G＝弥富グラウンド		＝生き活き教室 保セ＝保健センター 文セ（文化センター）	
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日			
	1 麻雀クラブ 13:00 ピンポン 13:30 学 小・中学校始業式	2	3 つどい会 10:00	4	5	6 学 須佐中親子作業			
7	8 エコクラブ 9:30 ピンポン・ポッチャ 13:30	9 須 パッチサークル 9:30	10 歩こう会 8:45 色えんぴつ画 13:30	11 須 習字教室 10:00	12 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30	13 			
14 家庭の日	15 ■須佐地域敬老会 10:00 (文セ)	16 須 パッチサークル 9:30	17 	18 生き活き体操 8:45 須 さつき学級 13:30	19 弥 さつき学級 9:30	20 学 小・中合同運動会 (育英小グラウンド)			
21 須 韓国カフェ 13:30	22 エコクラブ 9:30 麻雀クラブ 13:00 ピンポン・ポッチャ 13:30	23 秋分の日	24 須 色えんぴつ画 9:30 弥 グラウンドゴルフを楽しむ会 9:30 音楽療法 13:30	25	26 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30	27 学 須佐保運動会 (文セ)			
28	29 麻雀クラブ 13:00 ピンポンクラブ 13:30	30 	《スマホなんでも相談所》 ・須佐地区：9/8・22（月）9時～17時 ・弥富地区：9/25（木）9時～12時60705			秋の全国交通安全運動 期間＝9/21～30			

● 須佐美術展
実行委員会から

11月の「須佐美術展」が近づいてきました。須佐地域の皆さんからも作品を募集しますので、ご協力をよろしく願います。

作品は、絵画、書、写真、陶芸、工芸などです。詳細は、今月号の回覧チラシをご覧ください。

☆問い合わせは
須佐公民館 ☎ 2310 まで

皆さんの作品を心よりお待ちしております。



● 弥富さつき学級「ポッチャ」

○とき 9月19日(金) 午前9時30分から

○ところ 弥富交流促進センター

○持参物 室内履きシューズ

○申込み 9月12日(金) までに 弥富公民館 ☎ 2044へ

伝言板



毎月第3日曜日は「家庭の日」
今月は『21日』です
 ★家族みんなで過ごしましょう！

須佐地域の人口 (R7.7月末現在)			
	世帯数	人口	前月比
須佐	916戸	1,608人	(△6人)
弥富	209戸	385人	(△1人)
合計	1,115戸	1,993人	(△7人)
昨年比	世帯数△41人		人数△81人

編集後記

今年も琉球朝顔が公民館に降り注ぐ日差しを遮っています。植栽から約10年、最近この琉球朝顔のDNAを残すための役割分担を知ることができました。それは、子孫を増やすために足元を這い根を下ろすもの、花を咲かせ種を残そうと高いところに登ろうとするもの。ある日足元を這うツルを上に登らそうとしましたが決して登りません。植物の中でもそれぞれの役割があることが分かりました。人間だって、自分に与えられた役割がきつとあるはずだと痛感。